

釧路南ロータリークラブ会報

第 29 回 例会 報告 2024.4.5 通算 1964 回

・点 鐘 長江孝文会長

皆さん、こんにちは。

昨日の北海道新聞にこんな記事が出ておりました。

倶知安町の宿泊税、過去最高の 4 億円強、前年度の 2 億 4300 万円からほぼ倍増のようです。

倶知安町は道内で唯一、法定外目的税「宿泊税」を課税する地域です。

つまり、釧路には無い税収で 4 億円もあることになります。2023 年の根室はふるさと納税寄付額 180 億弱で 3 位、白糠のふるさと納税寄付額は 150 億弱で 4 位です。根室も白糠も街のために自由に使える税金が 10 億以上あると聞いております。街も企業と同じでお金が無ければ何も出来ないと思います。

釧路市も何か起爆剤になるような取り組みが必要なのではないでしょうか？これから、釧路南ロータリークラブとして、そのような街づくりにもいろいろな発想や提案など考えていく必要があるのではないのでしょうか？

地元を考える郷土愛、それもロータリー役割の一つだと思います。今日のプログラムは環境月間に因んでいます。合同事務所より 4 月のロータリー月間のリソースが送られてきておりました。環境の保護、ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じています。ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環

・ロータリーソング

「君が代」「奉仕の理想」「四つのテスト」



ソングリーダー 長倉 巨樹彦会員

・結婚 祝

湯田 良介会員 H15. 4. 10 (21 年目)

・会 長 挨拶



境破壊の原因、およびその影響の削減に取り組ま
す。キーワードは気候変動、環境保護という事
でしょう？特に気候変動はみなさんが実感されて
いると思います。日本の気候変動の特徴として、
真夏日や猛暑日が増えている点があります。東
京周辺で30°C以上となる時間数は、1980
年代前半には年間200時間程度でしたが、
2000年に入ると約2倍になっています。さら
に、その範囲は東京からどんどん郊外へと広
がっています。去年の釧路での暑さを考えると
東京周辺だけの話では無いことだと思います。
ロータリアンとして、環境問題と気候変動へ
どのような取り組みでその悪影響を食い止める
ことができるのか？そんなお話が聞けるのでは
無いかと思えます。それでは今日1日、宜しく
お願いします。

・幹事報告



- * 4月のロータリーレートは1ドル151円です。
- * RI 日本事務局から『財団室 NEWS』が届いてお
ります。
- * 『浜中ロータリークラブ』様、『根室ロータリーク
ラブ』様より、4月のプログラムが届いておりま
す。
- * 『根室ロータリークラブ』様より、会報が届いてお
ります。

・委員会報告

親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金
湯田 良介会員 結婚祝として

・本日のプログラム

「環境月間に因んで」

担当 ロータリー情報委員会

◆亀井麻也会員



地球を守るロータリーの取り組み

- ・陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
 - ・天然資源の管理と保全を支援する地域社会の能力
向上
 - ・持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援
 - ・温室効果ガスの排出削減による気候変動の原因へ
の取り組み
 - ・気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化
 - ・環境を守る行動を促すための教育イニシアチブの
支援
 - ・より資源効率の高い経済を築くための持続可能な
消費の提唱
 - ・環境正義の問題と公衆衛生上の懸念への取り組み
- ロータリー財団は、ロータリー会員と地域社会の協

力者たちによる活動に補助金を提供します。

気候変動とは、気温及び気象パターンの長期的な変化を指し、これらの変化は太陽周期の変化によるものなど、自然現象の場合もありますが、1800年代以降は主に私たち人間の活動が気候変動を引き起こしており、その主な原因は化石燃料(石炭、石油、ガスなど)の燃焼によるものです。

要因としては、排出された温室効果ガスが地球を覆うことで、太陽の熱が閉じ込められ、地球温暖化や気候変動を引き起こします。現在、地球温暖化は観測史上最も急速に進行しており、発電によって、石炭や石油、天然ガスなどの化石燃料を燃焼させることによる発電や発熱が、地球規模での温室効果ガス排出の大部分を占め、電力のほとんどが現在も化石燃料からつくられており、風力や太陽光などの再生可能資源からつくられる電力は4分の1程度にすぎません。製造業と工業は、主にセメントや鉄、銅、電子機器、プラスチック、衣類などの製造に必要なエネルギーをつくり出すために化石燃料を燃焼させることで温室効果ガスを排出します。また、鉱業やその他の産業プロセスでも温室効果ガスが排出されます。農場や牧草地づくりなど、さまざまな目的で森林を伐採すると、樹木が蓄えていた炭素が伐採時に放出されるため、温室効果ガスが排出されます。また、森林は二酸化炭素を吸収するため、森林を破壊することは温室効果ガスを大気中に放出させないようにする自然の力を抑制することにもなります。

気候変動の影響は気温の高い状態が長期化すると気象パターンが変化し、自然界の平常のバランスが崩れます。そのため、人間や地球上のその他すべての生物の生命に多くのリスクがもたらされます。

気温上昇により、陸地のほぼ全域で暑い日と熱波が増えています。2020年は観測史上最も暑い年のうちのひとつとなりました。気温が高くなると暑さに起因する病気が増え、労働や移動がより困難になります。気温が高いほど山火事が発生しやすく、より急速に広がります。暴風雨の激化/気温が変化すると降水量が変化し、より激しい暴風雨が頻繁に発生します。その結果、洪水や土砂崩れが起こり、住宅やコミュニティを破壊し、何十億ドルもの損害が発生します。干ばつによって、水不足が深刻化している地域が増えています。何十億トンの砂が大陸間を飛ぶ可能性があります。砂漠が拡大し、食料を育てる土地が減少しています。現在、多くの人々が日常的な水不足の危機に直面しています。気候変動が進むと日本はどうなるか？

環境省・気象庁の出典によると真夏日(最高気温30℃以上)の日数が北海道だけでも日本海側(参考都市/札幌)現在約8日が2100年末に約48日、太平洋側(参考都市/釧路)現在0日が約34日になると予測されています。



・次回のプログラム

4月12日(金)

「健康を語る」

会場 ANA クラウンプラザホテル釧路 12:30～

担当：奉仕プロジェクト委員会

・点 鐘 長江孝文会長

今週の会報担当：福井克美会員